

県民の安心願う 意見書案は否決に

本会議最終日の10月4日、執行部提出議案とともに議員提出議案の採決が行われました。県民クラブから提出した議案（意見書）は「陸上自衛隊大分分屯地に新設する火薬庫への長距離射撃ミサイルの保管に反対する意見書（案）」と「健康保険証の存続を求める意見書（案）」の2本。採決の結果、2つとも賛成少数で否決されました。

大型火薬庫の増設

不安解消のため丁寧な説明を

国が昨年12月に策定した「国家防衛戦略」には、自衛隊が有事に組織的な戦いを継続する能力を確保するため5年間をかけて火薬庫を増設する方針が打ち

大分分屯地 位置図



出典：陸上自衛隊 Web サイト (<https://www.mod.go.jp/presiding/law/drone/pdf/map/map7-26>) を加工して作成

出典：陸上自衛隊 Web サイト (<https://www.mod.go.jp/gsd/station/wa/oit.html>) を加工して作成

出され、今年度約58億円の予算が計上されています。防衛省は、この中で「反撃能力」を行使するため攻撃目標の射程外から攻撃できる長距離射撃ミサイル（スタンド・オフ・ミサイル）を保管できる大型火薬庫を大分市鷺野の陸上自衛隊大分分屯地に新設することを発表しました。

大分分屯地がある地域は、2万世帯4万人が暮らす住宅密集地域であり、小中高校、大学、福祉施設、医療機関などが多数存在しており、ここにスタンド・オフ・ミサイルが保管された場合、有事の際に先制攻撃の目標になることが懸念され住民から不安の声が上がっています。

このことから、私たち県民クラブは、国が地域住民に対して丁寧な説明を行い不安解消を図ること、また不安解消に至らない場合は利用計画の見直しが必要と考え、意見書案を提出したものです。

予想される医療現場の混乱

当分の間、健康保険証の存続を

国は、マイナンバーカードと保険証の一体化を進めるため、来年から健康保険証を廃止しマイナンバー保険証に移行するとしています。しかしマイナンバー保険証については、他人の医療情報が閲覧されたり、高齢者施設では暗証番号が管理できないという声が上がったり、様々な問題が噴出していきます。

健康保険証を巡る一連の混乱は、命と健康に関する情報を巡る混乱であり、このことは深刻に受け止めるべきです。

このことから、国民の不安を払しょくするため、いったん立ち止まってシステムを総点検し、同時に当分の間の健康保険証の存続を求めたものです。

以上の意見を県議会の総意として国に伝えることは至極当たり前のことだと考えますが、賛成少数で否決されました。残念ですが、これから諦めることなく粘り強く県民生活の現場の声が届くようチャレンジしていきます。

意見書の採択状況 2023年 第3回定例会

	県民クラブ	民主党	自由党	公明党	日本共産党	日本維新の会	無所属の会	可・否
私学助成制度の堅持及び拡充強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可
陸上自衛隊大分分屯地に新設する火薬庫への長距離射撃ミサイルの保管に反対する意見書	○	×	×	×	○	×	×	否
健康保険証の存続を求める意見書	○	×	×	○	○	○	×	否
硬膜外自家血注入療法に対する適正な診療上の評価等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可
サーキュラーエコノミーの実現を目指した施策の推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可
下水サーベイランス事業の実施を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可
軽油引取税の課税免除措置の継続等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可

県議会ホームページにて
一般質問の中継録画を視聴できます

<http://www.oita-pref.stream.jfit.co.jp>

県議会HPにて過去分も含め、各議員一般質問の全録画を視聴できます。

